

平成31年（令和元年）度  
事業報告書



社会福祉法人  
千葉アフターケア協会

## 目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
中長期目標について	3
平成31年度法人目標について	4
【平成31年（令和元年）度業績報告】	4
【役員会等開催報告】	7
事務局	8
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	10
生活介護	11
施設入所支援	12
短期入所	13
【利用者行事等実施報告】	13
【利用者週間活動実施報告】	16
医務室・訓練室	16
【ヒヤリハット・事故報告】	17
【苦情等について】	20
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	21
<u>児童通所支援事業ハピネス浜野</u>	22
児童発達支援	23
放課後等デイサービス	24
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	25
【法人内職員研修・実習生受け入れ実施報告】	27
【法人内委員会・諸会議実施報告】	29
平成31年（令和元年）度 委員会年間計画・研修実施報告	32

## はじめに

平成31年（令和元年）度は、理事長はじめ新理事体制のもと職員一丸となって運営に努めたが、9月に台風15号による停電や建物の一部の破損があったり、新型コロナウイルスに対して感染症予防の対策を講じたりと、災害等に対する備えや動きに取り組みなければならない厳しい一年であった。施設設備は、長期修繕計画に沿って実施しているが、今後の災害に対して電力確保のため、補助金を活用し非常用発電設備を設置することを進め、補助金交付決定をされた。また、経年劣化により修繕が必要な箇所が出てきているので、設備等を点検し、利用者支援に支障をきたさないよう実行していく。それを踏まえて令和2年度の法人目標を立て、この経験を生かしたいと考える。

障害者支援施設・共同生活援助事業の実績は前年度とほぼ変わらないが、障害児通所支援事業では、夏休みの利用者数を定員数にしたため、前年度より下回ってしまった。利用者の区分が上がったことで、利用者数が減少しても収入増となっている事業もあった。

ハピネス浜野15周年記念外出も進めており、入所・通所利用者に楽しんでいただいている。

今年度も、加算が見込めるまで職員数の増加を図ったが増員とならず、次年度も引き続き採用を進め、安定した経営を目指す。また、職員の教育環境を整え、多様な働き方ができるよう取り組んでいき、地域や障害者から必要とされるサービスを提供できる法人となるよう取り組む所存である。

### 【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・今年度の目標やサービス方針に対するの報告事項
- ・平成31年度当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

### 【役員等総数】※令和2年3月31日現在

理 事 6名

監 事 2名

評議員 8名

評議員選任解任委員 4名（外部委員2名）

### 【職員総数】※令和2年3月31日現在

54名

## 【法人全体の取り組み】

### 中長期（平成30年度から3年間）目標について

#### 1. 地域と共にある施設づくり

- ①防災を中心とした地域との連携による利用者の安全確保体制の強化
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

##### [報告事項]

- ・台風15号では被害（停電・浸水）があったが、施設利用者の生活に支障をきたさないよう職員が一丸となって対応した。その後の台風対策を実施した。また、地域の状況を確認するとともに近隣の他施設との連携を深めた。
- ・認知症カフェ「濱野館」は4月から1月まで営業した。平均利用者数3.8人で、おかわりするお客様もあり、総売り上げは5,200円であった。

#### 2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を保持し、安心・安全な介護サービスの提供を推進する
- ②快適な暮らしを提供するための施設整備の充実
- ③開かれた法人運営
- ④社会福祉充実計画の実施と検討

##### [報告事項]

- ・介護事故に対して同様の事故が起きないように迅速に検証、対策を講じたが、一方では、車両事故や特に台風15号では設備の不具合等で利用者には不安を与えてしまう場面があった。
- ・千葉県法人監査・障害者支援施設実地指導を受け、改善に努めた。
- ・社会福祉充実計画では、職員育成（実務者研修実施）を実施した。

#### 3. 施設・職場環境の整備

- ①チームワークによる支援体制の充実を図る
- ②職員教育制度の充実を図る
- ③働き方・考え方の多様性を尊重し、職員の職場定着を図る

##### [報告事項]

- ・委員会活動が活発に行われ、生活の質の向上に取り組んだ。
- ・内部・外部研修に参加し、知識や技術の向上に努めた。
- ・職員紹介制度の活用者が4名で、パート職員の紹介であった。

採用 14名（入職率：29年度 11/49 22.4% 30年度 12/52 23.0% 31年度 14/54 25.0%）  
退職 11名（離職率：29年度 9/49 18.4% 30年度 10/52 19.2% 31年度 11/54 20.0%）

## 平成31年度法人目標について

各事業の安定した利用者実積の確保  
～ニーズの把握と利用推進～

情報管理の強化  
～個人情報の適切な管理と書類整備～

組織の一員としての資質を養う  
～教育の充実と情報共有～

### [報告事項]

- ・台風15号の被害・新型コロナウイルス感染予防等対策を実施したことで、例年より若干利用者数が減ったが、利用者・職員に対してそれらの事故もなく事業運営にも大きな支障はきたしていない。
- ・新規で生活介護（通所）利用者3名、短期入所利用者3名が増えた。
- ・各職種で利用者への必要なサービスの共有と実施に取り組んだ。
- ・15周年記念外出行事は、台風や新型コロナウイルス等により全員の実施とならなかったもので、次年度も引き続き実施していく。
- ・情報管理では、インターネット伝言板や文書を通じて共有に努め、全体会議等で説明し、理解不足が生じないように努めた。また、PC入れ替え時に環境のみならず、情報の扱い方についての要綱を定める準備を進めている。
- ・リーダー的役割の職員7名が年間を通して人間力向上研修を受け、スキルアップや職場環境改善に努めた。

## 【平成31年（令和元年）度業績報告】

### 1、事業の経過及びその成果

#### サービス活動収益について

・31年（令和元年）度は、障害者支援施設（生活介護・施設入所・短期入所）において、平均利用者数が当初予算とほぼ同等となり、児童通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）では職員4名から2名となったので、定員以上を受け入れることができず、当初予算より利用数が下回った。全体では当初予算と遜色ない実績となった。

#### 補助金・助成金申請について

・ハピネス浜野建設時の設備資金借入金返済元金11,000千円と利子484千円に対して、千葉市から3/4額の補助金があった。

- ・特定求職者雇用開発助成金として、千葉労働局から 300 千円の補助があった。
- ・非常用自家発電設備装置補助金として、16,087 千円を申請した。

#### 支出について

##### <建物・設備等>

- ・固定資産取得支出の合計金額 11,014,772 円  
集中検針装置・滅菌機・機械室排煙濃度計・厨房温冷配膳車・業務用 P C 2 2 台 (Windows 7 のサポートが 2020 年 1 月 14 日で終了となり、Windows10 へのサポート切替) を入れ替え、公用車アルトの買取、いうら移動式リフト・理事長室デスク・理事長用 P C は新設、電話機・ P H S アンテナを増設した。

##### <人件費・事業費・事務費>

(指標%)	平成 30 年度	令和元年度	前年比
人件費率 (60~70%)	61.1%	60.0%	1.1%減
事業費率 (13~15%)	12.7%	13.5%	0.8%増
事務費率 (13~15%)	13.8%	15.2%	1.4%増

##### <積立金>

- ・ハピネス浜野にて、3 階浴槽改修等として修繕積立金を 21,800 千円、非常用自家発電設備等購入費用として 17,000 千円積み立てた。

#### 法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- ・資金収支計算書上の決算額については、概ね予算どおりの内容となった。
- ・事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して 6,094 千円の増益となった。
- ・今年度の経常増減差額は 16,000 千円となり、黒字だった。

#### 社会福祉充実計画について

- ・職員育成事業として実務者研修を開講し、法人職員 3 名が受講した。
- ・ポート浜野における、児童通所支援事業の移転・拡充及びグループホームの開所については、具体的な計画は立てることが出来なかったが、新設のグループホームの見学や資料を研究した。

#### 法人監査・障害者支援施設実地指導について

- ・法人監査では、理事会の招集通知が一週間前に発送されていなかったことと、平成 30 年度決算報告書の数字相違の訂正の 2 点の指摘があった。
- ・実地指導は、指摘事項はなかった。

## 2、予算・決算差異【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異 (予算－決算)	
事業活動収入	342,158	347,383	△5,225	(101.5%)
事業活動支出	306,544	306,575	△31	(100.0%)
事業活動資金収支差額	35,614	40,807	△5,193	
施設整備等収入計	24,336	24,337	△1	(100.0%)
施設整備等支出計	23,906	24,483	△577	(102.4%)
施設整備等資金収支差額	430	△146	576	
その他の活動収入計	15,089	14,121	968	(93.5%)
その他の活動支出計	49,883	54,771	△4,888	(109.7%)
その他の活動資金収支差額	△34,794	△40,649	△5,855	
当期資金収支差額合計	0	12	△12	

## 3、収支の推移【事業活動計算書】

(単位：千円)

	平成 30 年度	平成 31 年度	対 比	
サービス活動収益	335,951	342,855	6,904	(102.0%)
サービス活動費用	315,933	326,415	10,549	(103.3%)
増減差額	20,018	16,373	△3,645	
サービス活動外収益	2,825	4,527	1,702	(160.2%)
サービス活動外費用	2,738	4,909	2,104	(176.8%)
サービス活動外増減差額	87	△314	△402	
経常増減差額	20,105	16,058	△4,047	
特別収益	8,250	24,337	16,087	(294.9%)
特別費用	154	94	△60	(61.0%)
特別増減差額	8,096	24,243	16,147	
当期活動増減差額	28,200	40,302	12,102	

## 4、資産・負債の推移【貸借対照表】

(単位：千円)

	平成 30 年度	平成 31 年度	対 比	
流動資産	106,133	93,771	△12,362	(88.3%)
固定資産	1,088,409	1,099,629	11,220	(101.0%)
資産合計	1,194,542	1,193,400	△1,142	(99.9%)
流動負債	37,932	25,558	△12,374	(67.3%)
固定負債	49,207	37,587	△11,620	(76.3%)
負債合計	87,139	63,146	△23,993	(72.4%)
純資産	1,107,403	1,130,254	22,851	(102.0%)

## 【役員会等開催報告】

### 1. 監事監査

令和元年5月28日（火）

平成31年度法人経営事業の監査

### 2. 理事会

第1回理事会 令和元年5月31日（金）

議題 第1号議案 平成30年度事業報告・決算報告について

第2号議案 社会福祉充実計画について

第3号議案 評議員の承認について

第4号議案 定時評議員会の開催について

第5号議案 理事・監事の選任について

第2回理事会 令和元年6月19日（水）

議題 第1号議案 理事長、業務執行理事の選定について

第2号議案 定時理事会の招集について

第3回理事会 令和元年7月24日（水）

議題 第1号議案 給与規程の一部改正について

第2号議案 育児介護休業規程の一部改正について

第3号議案 就業規則の一部改正について

第4号議案 退任慰労金について

第5号議案 相談役について

第4回理事会 令和元年9月25日（水）

議題 第1号議案 パソコン・複合機の再リースについて

第5回理事会 令和元年11月20日（水）

議題 第1号議案 就業規則等規程改正について

第6回理事会 令和2年1月22日（水）

議題 第1号議案 公益事業（日中一時支援）の廃止について

第2号議案 非常用自家発電設備の設置について

第3号議案 パソコンの入替について

第7回理事会 令和2年3月25日（水）

議題 第1号議案 平成31年度補正予算（案）について

第2号議案 令和2年度事業計画（案）について

- 第3号議案 令和2年度収支予算（案）について
- 第4号議案 非常用自家発電設備の入札業者選定について

第8回理事会 令和2年3月30日（月）

- 議題 第1号議案 非常用自家発電設備の入札業者選定について
- 第2号議案 令和2年度収支予算（案）について

### 3. 評議員会

第1回評議員会 令和元年6月19日（水）

- 議題 第1号議案 平成30年度事業報告書の承認について
- 第2号議案 平成30年度計算書類及び財産目録の承認について
- 第3号議案 社会福祉充実計画の承認について
- 第4号議案 役員等報酬規程の一部改正について
- 第5号議案 役員等及び評議員の報酬等支給基準について
- 第6号議案 次期理事、監事の選任について

## 事務局

### 1. 法人事務

#### [報告事項]

- ・平成31年度は報酬改定もなく、児童通所支援事業は前年度割れだったが、他事業は前年度と同様の収支となった。
- ・生活介護は、特別支援学校新卒利用者や相談支援事業所からの紹介等で、新規利用者は3名。
- ・職員採用は、職員紹介業者、広告、ハローワークを活用した。
- ・行動評価検討委員会を立ち上げ、法人職員としての資質向上に努めた。
- ・顧問社労士と相談し、就業規則等全面改定を実施した。
- ・税理士との打合せを月1回行い、財務諸表の見方や予算管理等について学び、適切な会計処理に努めた。
- ・厨房機器やパソコンの入れ替えを実施した。
- ・施設整備では、台風災害による修繕、送迎車両の修理等、修繕が多く発生した。
- ・台風による停電があったので、千葉市の非常用発電設備の補助金を申請した。
- ・新型コロナウイルスの感染予防に努めた。
- ・生浜地区福祉連携会議等で地域住民や他施設との情報共有を実施した。
- ・慶弔見舞金規程を整えたので、職員親睦会は年度末で終了とした。
- ・各規程の一部見直しを実施した。
- ・10月より、更なる処遇改善（福祉・介護職員等特定処遇改善加算）の給付をうけることとし、対象職員へ分配を開始した。

## 2. 防犯・防災計画

### [報告事項]

- ・消防通報訓練を含む総合避難訓練を7月24日、夜間想定訓練を1月29日、さすまた訓練、担架使用訓練等実施した。
- ・台風15号の被害の確認を行い、その後の台風に備えた。
- ・非常用自家発電設備の設置のための補助金を申請し、業者選定の入札を実施した。

## 3. 広報活動

### [報告事項]

- ・障害者支援施設ハピネス浜野のパンフレットのレイアウト・内容を見直してリニューアルした。
- ・利用者の画像使用承諾に基づき、ホームページとFacebookに行事や活動内容を都度アップし、速やかな情報提供を実施した。
- ・実務者研修実施の告知、財務関係書類や児童発達支援事業の事業所評価を公開した。

## 4. 食事提供

### [報告事項]

- ・食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- ・利用者懇話会でリクエストを聞き取り、新規メニューを取り入れた。
- ・行事食は季節のメニューを月1回のペースで提供し、その他ハピネス祭りやクリスマス会、行事等に合わせた特別メニューを実施した。
- ・体重が急激に減少してしまった方へは、医務室と連携し、補助食やメニューの改善を行った。
- ・タンパク質、カルシウム、鉄分等の摂取に注意し、適切な食事提供に努めた。

## 障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

### 目標

- ・個別支援計画による利用者支援の実施と記録の充実を図る  
～行事・サークル活動の計画的な実施と適切な介護サービスの提供～
- ・利用者の生活の場である施設を安全に快適に管理する  
～日々の点検と清掃の実施～
- ・組織の一員としての資質を養う  
～教育の充実と業務遂行～

### [報告事項]

- ・介護中の事故削減に努めたが、送迎時に事故が発生したので、注意点等を精査し、周知した。
- ・台風 15 号による停電や建物被害の中、利用者支援に支障をきたさないよう努めた。
- ・新型コロナウイルスの感染予防に努めた。
- ・個別支援計画書の理解に努め、様々な利用者の日常生活上の課題に取り組んだ。
- ・ハピネス祭りの実行委員に利用者も参加し、計画に取り組んだ。

### 【利用者年齢構成】

令和 2 年 3 月 31 日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所 利用者	男	0	1	1	5	5	4	0	16
	女	0	0	2	6	1	5	2	16
通所 利用者	男	1	14	5	2	3	0	0	25
	女	2	3	1	3	1	0	0	10
計		3	18	9	16	10	9	2	67

### 【利用者平均年齢】

入所利用者 52 歳

通所利用者 31 歳

# 生活介護

## 目 標

- ・利用者主体・グループ単位で活動・行事の計画を立て個別性の高いサービスを実施する。

## [報告事項]

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズを考え、入浴支援を中心に清潔保持、健康管理、生活リハビリの実施を行った。身体特性や日々の体調に合わせた入浴を医務と連携して行った。</li> <li>・サークル活動は、1階はねむの木広場のスペースを活かしてレクリエーション中心の動的活動と、2階ではリハビリを兼ねた手指を使って様々な装飾等の作品を作る静的活動に分かれて行った。作品作りについてはハピネス祭、クリスマス会等の行事で展示、販売を行った。</li> <li>・15周年記念外出では、千葉ポートタワーの見学、レストランでのバイキングを実施し、施設外での活動の充実を図った。</li> <li>・送迎サービスについて、運転スタッフとの連携を図りながら、安心、安全、快適な運行を行った。</li> </ul>
--

## 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	13,985	13,763	△222
1日あたり平均利用者数（名）	54.4	52.5	△1.9（96.5%）
事業収入（千円）	204,675	205,828	1,153（100.6%）

## 【直近5年間の利用者の推移】

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用者定員（名）	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数（名）	53.0	54.5	54.7	52.3	52.5
稼働率（%）	88.3	90.1	91.1	87.1	87.5
稼働日数（日）	259	259	257	256	262
利用者延べ人数（名）	13,731	14,126	14,061	13,394	13,763
事業収入（千円）	202,374	205,748	196,748	197,680	205,828
平均障害支援区分	5.2	5.3	5.4	5.3	5.7

## 施設入所支援

### 目 標

- ・利用者の心身の変化に応じた適切な対応に努める。

### [報告事項]

- ・生活支援員を4つのグループに分け、グループ単位で利用者の個別支援を考える機会を作り、全職員で課題を共通化し取り組んだ。
- ・15周年記念外出の他に、土日の休日を利用して近隣のショッピングセンター等の買い物を行った。
- ・昨年に引き続き、地域行事の参加として千葉市スポーツ大会、盆踊り大会、節分行事に参加、またハピネス祭では多くの地域の方や各関係者が参加され、相互交流ができた。
- ・医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋げた。

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	11,429	11,302	△127
1日あたり平均利用者数（名）	31.3	30.8	△0.5（98.4%）
事業収入（千円）	72,780	73,591	811（101.1%）

### 【直近5年間の利用者の推移】

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	31.0	31.1	31.2	30.8	30.8
稼働率（%）	96.9	97.2	97.5	96.2	96.2
稼働日数（日）	366	365	365	365	366
利用者延べ人数（名）	11,342	11,340	11,393	11,264	11,302
事業収入（千円）	66,381	66,938	67,342	69,536	73,591
平均障害支援区分	5.2	5.3	5.3	5.3	5.4

## 短期入所

### 目 標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用できるよう調整に努める。

### [報告事項]

- ・緊急利用が必要な利用者へのベッドコントロールがスムーズに行えるよう調整を図った。
- ・利用者が安心して安全に過ごせるよう関係機関との連携を密に取り、ケース会議を活用して職員と情報共有を図った。

### 【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	1,988	1,917	△74
1日あたり平均利用者数 (名)	5.4	5.2	△0.2 (96.2%)
事業収入 (千円)	22,614	23,427	813 (103.6%)

### 【直近5年間の利用者の推移】

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用者定員 (名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数 (名)	5.6	5.7	5.5	5.0	5.2
稼働率 (%)	93.3	95.0	91.7	83.3	86.6
稼働日数 (日)	366	365	365	365	366
利用者延べ人数 (名)	2,034	2,088	2,003	1,825	1,917
事業収入 (千円)	17,861	19,402	19,342	23,642	23,427
平均障害支援区分	5.1	5.1	5.2	5.5	5.3

### 【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4月			お花見松花堂弁当
5月	利用者懇話会(1日) 千葉県障害者スポーツ大会 (12日)	3階(すずかけ) 青葉の森陸上競技場	節句メニュー 改元祝いメニュー
6月	外出活動(17日) 外出活動(30日) オセロ大会(26日)	千葉ポートタワー、 東京ディズニーランド 千葉県ハーモニープラザ	リクエストメニュー 産業現場実習1名

7月	七夕飾り 外出活動(1日、17日) 外出活動(14日)	1階(ねむの木広場) 千葉ポートタワー アリオ蘇我	七夕メニュー
8月	本行寺盆踊り(17日) 外出活動(21日)	本行寺 千葉ポートタワー	精進料理
9月	ハピネス祭り(7日)	ハピネス浜野	お祭りメニュー 月見ハンバーグ 利用者健康診断
10月	外出活動(9日、23日)	千葉ポートタワー	ハロウィンメニュー 即位の儀お祝いメニュー
11月	外出活動(6日) 外出活動(21日)	東京ディズニーランド 千葉ポートタワー	リクエストメニュー
12月	クリスマス会(18日)	1階(ねむの木広場)	インフルエンザ予防接種 クリスマスメニュー 冬至メニュー 年越しそば
1月	諏訪神社初詣(1日) 外出活動(15日) 外出活動(29日)	諏訪神社 千葉ポートタワー アリオ蘇我	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2月	諏訪神社節分祭(3日)	諏訪神社	節分メニュー バレンタインおやつ
3月	ひな壇飾り 利用者懇話会(26日) 外出活動(お花見)	ねむの木広場 3階(すずかけ) 市原臨海公園他	利用者健康診断 ひな祭りメニュー
毎月	<b>【理美容】</b> アラモード(第3月曜)、髪人(第2火曜) <b>【ボランティア活動】</b> 生け花(第1月曜) 音楽を楽しむ会(最終水曜) 車いすダンス(第2・第4月曜) ボッチャ(偶数月 第2水曜) パソコン(第2・第4土曜・) <b>【サークル活動】</b> 手工芸、ものづくり、音楽、美容、園芸、料理 <b>【その他】</b> 体重測定(1回) 嘱託医診察(1回) 訪問歯科診療(2回) みんなの声ポスト確認(月初) 味ポスト(随時聞き取り)		

### 産業現場実習

桜が丘特別支援学校から高等部の実習生を受け入れた。

### 外出活動

食事、散策(千葉ポートタワー、東京ディズニーランド)、食事、買い物(アリオ蘇我)  
買い物(ベイシア)、お花見ドライブ(市原臨海公園、松ヶ丘公園、大百池公園)

### ハピネス祭り

テーマは「愛のわ〜和・輪〜」。和太鼓、よさこい演奏、ポッチャ体験、ゲームコーナー、アクセサリ作り体験など、利用者、ボランティア、職員が一体となり、多くの参加者との交流を図った。

### クリスマス会

習志野フィルオーケストラによる演奏、みんなで踊ろう「パプリカ」、午後は音楽サークルの演奏や、職員の変装コンテスト等で、利用者・家族、職員が共に楽しんだ。

### 行事食

季節感や特別行事を意識した献立、利用者から聞き取ったリクエストメニューを実施した。

### 利用者懇話会

入所、生活介護利用者と職員が集まり、お茶やお菓子を楽しみながら年間行事や日中活動について話し合った。

### オセロ大会

利用者から4名(団体戦3名、個人戦1名)を選抜、団体戦でI部の3位となり、安定した強さを見せた。個人戦は17人中5位という結果だった。

### 車椅子ダンスボランティア

ボランティアとの交流を図りながら、音楽に合わせて車椅子でのダンスを楽しんだ。

### パソコンサークル

利用者一人一人の能力や希望を取り入れながら、パソコンの指導を受けた。

### 生け花ボランティア

ボランティアの支援を受けながら、生花が一番良い表情になるように花器へ生け、ロビーへ飾るなどして施設内を彩った。

### 歌を楽しむ会

ボランティアの楽器演奏と歌声に合わせて一緒に歌い、季節の歌を楽しんだ。

### サークル活動

- ・手工芸サークルではハピネス祭、クリスマス会といった行事に関連した室内装飾品を作成し、飾り付けを行い、行事への働きかけを行った。
- ・ものづくりサークルではハピネス祭でアクセサリ作り体験を行った。また手工芸サークルと連携して、室内装飾品作り、飾り付けを行った。
- ・音楽サークルではクリスマス会での演奏、またカラオケ実施時は、利用者それぞれが打楽器等の活用や、発声を通じて音楽への関心や演奏を通した一体感を楽しんだ。
- ・美容サークルでは行事や外出の際にネイル等を行い、年齢に応じたおしゃれを楽しんだ。
- ・園芸サークルでは施設内の畑で野菜作りを実施し、土に親しみ、草木の成長を楽しんだ。
- ・料理サークルではハピネス祭に向けてドーナツ作り、またスイートポテトやカップケーキ等、衛生に配慮しながら行い、おやつとして食べて楽しんだ。

## 【利用者週間活動実施報告】

	午 前	午 後
月曜日	機械浴（男女） 一般浴（男性） 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談
火曜日	機械浴（男女） 一般浴（女性） 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴（男女） 各種全体活動 機能訓練・相談
水曜日	機械浴（男女） 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 誕生日会（最終週） 機能訓練・相談 体重測定 嘱託医診察（施設入所支援利用者のみ）
木曜日	機械浴（男女） 一般浴（男性） 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談 訪問歯科（施設入所支援利用者のみ）
金曜日	機械浴（男女） 一般浴（女性） 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴（男女） 介助浴（男性） 各種全体活動 機能訓練・相談
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 外出活動 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 外出活動 居室内環境整備

## 医 務 室

### [報告事項]

- ・ 定期通院は月平均 28 件で約 3 割を施設対応（皮膚科受診が主）、臨時通院は月平均 3 件で施設対応、救急車対応は 3 件でいずれも入院対応にはならなかった。1 月にインフルエンザ A 型の発症があり通所利用者 2 名、職員 3 名が感染した。施設内での感染はない。
- ・ 日々の体調管理と服薬管理として、毎月 1 回嘱託医が入所利用者の診察を実施した。
- ・ 月 2 回の歯科医師による訪問診療で入所利用者中心に、検診と歯石除去、虫歯治療や入れ歯の作製などが実施された。
- ・ 入所者 9 名に大腸がん検診の対応を実施した。
- ・ 7 月～8 月にかけて風疹抗体検査 4 名、麻疹・風疹混合ワクチン 3 名、10 月に肺炎球菌ワクチン 1 名（いずれも入所利用者）、11 月に入所利用者 29 名と短期入所利用者 1 名、グループホーム入居者 4 名がインフルエンザワクチン接種実施した。
- ・ 施設利用者の病状変化に伴い医療ケア（尿留置カテーテルの交換と管理、経管栄養、ネブライザー吸入、気管内および口鼻腔内吸引、呼吸器管理など）を実施した。
- ・ 利用者の体重変化の観察と栄養士とともに栄養マネジメントを実施した。
- ・ 入所利用者 3 2 名と短期入所利用者 1 名に定期健康診断を 2 回実施した。結果は有所見者 26 名で、嘱託医および家族に連絡し、主治医への連携を図った。
- ・ 今後さらに医療ケアの必要度が増し、加齢に伴う疾患もあるため疾病予防に力を入れると共に感染予防の徹底を行いサービスの低下をきたさないよう努めていきたい。

## 訓 練 室

### [報告事項]

- ・利用者と、利用者を取り巻く様々な環境の適合状況を評価し、必要に応じて調整、変更してきた。特に電動車いすの導入等による自発的な移動能力の向上に重きを置いて実施した。
- ・補装具の新調・修理にあたっては身体機能と日常の使いやすさに留意した。

### 【ヒヤリハット・事故報告】

1) 「ヒヤリハット報告」とは、職員がある場面で「危なかった」と感じた内容を報告する。

平成31年・令和元年度 ヒヤリハット件数内容													
件数(月別) 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒系(転倒)	1	1			1		2		2	1		1	9
転倒系(滑落)					1				1	1	2		5
受傷			3	1					1	1	2		8
投葉ミス													0
移乗・移動	1			1	1	1		2				1	7
異食・誤飲				1			1	1					3
異物混入						2							2
離設 (施設内)										1	2	4	7
離設 (施設外)													0
返却忘れ	2		1										3
その他(設備系)	1	2		2			1	2		2	1		11
その他 (設備以外)	1	1	3	1	4		2		2		3	1	18
合計	6	4	7	6	7	3	6	5	6	6	10	7	73

年度	29	30	31
件数	42	59	73

2) 「事故報告」とは、施設内で利用者へ職員の関わりの有無を問わず発生した通常状態以外の事象を指す。結果的に利用者の身体的損傷等がなくても、発生した事実に着目し、再発防止に向けた検討が必要な内容を報告する

		平成31年・令和元年度 事故発生件数内容								
事故要因 事故内容	転倒	転落	介助中の事故	確認不足	原疾病	感染	原因不明	その他	合計	
負傷	4	2	3	1			4	3	17	
負傷なし	4	7	2						13	
誤(与)薬ミス			3	5					8	
誤嚥・異食									0	
異物混入									0	
離脱								1	1	
返却忘れ				1					1	
紛失・物損			1					9	10	
その他			1	3		1			5	
合計	8	9	10	10	0	1	4	13	55	

年度	29	30	31
件数	84	82	55

		傷害レベル			*身体的な事故のみ	
度数	件数	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
なし		3	2	6	2	13
軽度 (施設内処置)		5	4	1	3	13
中度 (通院治療)			1	2		3
重度 (入院加療)						0
その他		1				1
合計		9	7	9	5	30
うち、千葉市報告事故 5件						

### 【千葉市への事故報告は5件】

- ① 30年度末（平成31年3月22日）に3階浴槽水からレジオネラ菌が検出される。  
業者により点検を行ったところ、薬液器に亀裂があったため、薬液漏れを起こしていたと判明。産業医等にも相談。千葉市へ報告し現在、3階の浴室は使用していない。
- ② うち打撲については、原因不明。経過観察としていたが家族に説明を求められ、施設長・サービス管理責任者より行っている。
- ③ 介助中ではないが自らトイレへ行き、便器からずり落ちその後、左足の腫脹が出現。受診し、捻挫との診断だった。
- ④ 浴室での移乗の際、腰を痛めたとの訴え。年齢なども鑑み、骨粗鬆症の可能性も考えられる。
- ⑤ 送迎中の車両事故1件。利用者2名が乗車しており、家族へ連絡を行いみつわ台病院へ救急搬送する。事故後異変なく通常利用され、その後もお変わりなかった。

### 千葉市事故報告詳細

#### ① レジオネラ菌発生

3月12日（火）に採取した検査に出した3階浴槽水から、レジオネラ菌が検出されたと千葉県薬剤師会から連絡がある。循環器周辺を確認すると、薬液器が空になっていた。嘱託医へ報告した。当日から浴室使用を禁止し、浴室、浴槽、脱衣室を清掃し、薬剤で浴槽と循環ポンプの消毒をする。業者が点検すると薬液器に亀裂があり、薬液が漏れることが分かった。4月16日（火）に浴槽水を再検査し、4月23日（火）に不検出の結果が出る。その間、利用者・職員の体調家訓を実施した。薬液器の入れ替えが済み次第、浴室使用再開する予定としているが、現時点では、3階浴室は使用していない。

#### ② 右膝打撲事故（入所利用者 男性 29歳 障害支援区分6 ADL全介助）

4月23日（火）午前9時30分頃、生活支援員が入浴開始時、本人の右膝に打撲痕のようなあざき色の変色を確認。医務室へ連絡し、打撲であろうと予測したうえで経過観察した。腫れや熱感は見られず、原因について介助中にぶつけた様子もなかった。前日外泊から帰所時に身体チェックを実施しておらず、発生時や原因は不明とした。翌日、触って確認すると、膝外側に圧痛がある様子で家族に連絡する。理学療法士が触診等を行い、状態の確認後湿布する。26日（金）外泊のため父が迎えに来た際に右膝を見て「怪我をさせられた。全治何日だ。原因は何だ。」と激昂され、「役所へ連絡する。」と話された。様子観察のみで受診しなかったことを含め、サービス管理責任者と施設長が謝罪する。検証内容等が明確に示されない事案も減らすために、フローアールで過ごす姿勢、1日1回はボディチェックを実施するなど、具体的な支援方法を伝えた。

#### ③ 左足捻挫事故（入所利用者 女性 59歳 障害支援区分5 ADL一部介助）

7月17日（金）午前6時 3階のトイレより本人から「落ちた。」とコールがあり確認に向かうと、便座と向かい合わせに車椅子と便座の間に、車椅子に背を向け座りこんでいた。支援員介助のもと床から車椅子へ移乗後、怪我・痛みの有無を確認する。右膝に表皮剥離・臀部に痛みの訴えあり。叔母に連絡し、同日の9時過ぎに看護師付き添いでみどりの葉記念病院

受診。「骨折ではなく捻挫ではないか。1週間経過観察し、腫れがひかなければ骨挫傷の疑いもあるので再診を。」と診断され帰所。痛みは自制内という事で、痛み止め・湿布の処方なし。帰所後からは、移乗動作時はナースコールを使用し、職員支援の下で移乗動作を行うとともに、これまでの方法が適切であったかも検証し、職員は本人の障害である、高次脳機能障害への理解も深めていきながら、統一した介護を提供する周知を行った。

④ 移乗時による事故 (入所利用者 女性 73歳 障害支援区分5 ADL一部介助)

4月30日(金)の入浴時、入浴チェアへの移乗の際、腋下と膝窩を支え声を掛け合い身体を持ち上げ移乗するも、腰から臀部にかけて体勢不十分となり、本人が「痛い。」と声をあげられた。5月7日(火)午前、看護師検温時に、「入浴時の移乗の仕方が悪く腰を痛めた。青葉病院を受診したい。」と話され、看護師が付き添い13日(月)に青葉病院受診。骨折等の異常所見なし。ただし、骨粗鬆症があるので、移乗時に細心の注意を払って実施すること。リフト等の使用を検討する。

⑤ 送迎時車輛事故 (通所利用者 男性 39歳 障害支援区分6 ADL一部介助/  
通所利用者 男性 22歳 障害支援区分6 ADL全介助)

9月13日(金)午前9時40分頃、送迎車内に利用者2名(車椅子固定)乗車し、ハピネスへ向かう県道66号線を西から東へ向かう塩浜橋T字交差点で、青信号を確認して進入、直進したところ、右折してきたと思われる食品配送用トラックが送迎車右側(後部シート付近)に衝突。車体がへこみ右側後部ガラスが大破する。ガラスの破片が利用者の車椅子に飛散しているため、車外へ出し身体状況を確認。ハピネス浜野へ移動し、ガラス除去・救急搬送要請、家族に状況を電話連絡する。みつわ台総合病院へ搬送後、レントゲン検査と診察を受け、怪我等異常なしと診断される。受診後は、施設に戻り過ごされる。降所までの間、経過観察を行った。帰宅時には、家族へ経過観察継続を依頼したが、翌日以降も特に体調等変化なし。運転乗務していた職員も、整形外科受診したが1週間経過しても身体状況変化なし。

【苦情等について】

「みんなの声」ポストで利用者からの意見を吸い上げ、各部署で検討するとともに、利用者や家族に対し迅速な連絡と丁寧な説明を心がけて、コミュニケーションを図るよう取り組んだ。

苦情は1件あり。12月21、22日で初めての短期入所を利用した際、夕食時に利用者へ接する職員の態度が悪く不快に感じ、利用するのが嫌になった。母親に連絡した事で母親から施設に電話をするが、何度かけてもつながらなかった。本人はできれば利用したくないとの事で、以降の予約をキャンセルした。反省点並びに改善点として、土日の外部からの電話に必ず出られるように、外部通話可能な電話を複数の職員が必ず所持する。第三者が見て、不快に思うような対応を、お互いに注意しあえる環境作りに努めた。

## 相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

### 目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- ・同事業所意見交換会で実施する勉強会や相談支援に必要な研修に参加、異業種との交流に努めネットワークを構築していく。
- ・福祉に関する知識だけでなく、その知識に基づいて様々な相談に対応できる知恵と高い専門性を持てるようスキル向上に努める。

### [報告事項]

- ・計画相談支援新規契約は、障害者7件・障害児5件となり、総合計145件。前年より12件増とするが、契約終了者8件。内訳は、死亡終了2件、サービス利用の希望なし5件、相談変更希望1件となっている。  
モニタリング頻度が在宅者平均3か月ごと、入所者6か月ごとになったことから、実施件数は増加となった。
- ・自宅訪問等について、複数体制で実施し、利用者・家族と向き合いながら、聞き漏らしがないか確認に努めることの継続、担当者不在でも問い合わせに回答できるよう、情報共有を行い対応に努めることができた。
- ・医療機関から地域生活へ移行する方への支援も、地域連携室、福祉サービス提供事業所とサービス内容を本人交えて確認し、本人が安心して在宅生活を送れるように整え、実施した。
- ・困難事例と思われる利用者・家族の対応を、毎月開催される美浜・中央相談支援事業意見交換会において、事例検討会で討議し、スキルアップに努めた。
- ・グループホームを開所する事業所も増えており、意見交換会等で得た情報をもとに、生活に不安がある利用者や、入所問い合わせをいただく方へ、地域の情報提供を行った。
- ・千葉県実施のスキルアップ研修は随時参加し、医療的ケア児等コーディネーター養成研修に2名参加し修了。次年度の体制加算対象事業所として準備を行った。

### 【資金収支計算書による予算・実績】

	予 算	実 績	差異
計画相談支援事業収入（千円）	3,203	3,287	84（102.6%）
障害児相談支援事業収入（千円）	1,362	1,526	164（112.0%）
合 計	4,565	4,813	248（105.4%）

## 【直近5年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画書作成件数(件)	72	87	75	83	87
モニタリング件数(件)	178	155	155	158	238
新規契約件数(件)	21	12	6	11	7
3月31日時点契約件数(件)	100	112	103	108	112
事業収入(千円)	3,130	2,886	2,757	2,644	3,287

(障害児相談支援) ※平成27年2月1日事業開始

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
計画書作成件数(件)	12	26	23	44	36
モニタリング件数(件)	17	81	37	77	95
新規契約件数(件)	10	6	5	15	5
3月31日時点契約件数(件)	12	18	20	34	33
事業収入(千円)	470	940	821	1,412	1,526

## 児童通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

### 目標

- ・発達・成長に沿った利用回数と療育の提供

### [報告事項]

- ・新規利用希望児童へ施設案内を実施し、利用回数はご家族と相談し必要に応じ利用の調整を行った。
- ・夏休みはパート職員を増やし、利用人数に合わせて事故の無いようサービスの提供に努めた。
- ・保育士1名が実務者研修を受講し、介護の専門知識と技術の習得をした。
- ・情報の収集や共有のため、特別支援学校の学校公開や事業所連絡会に積極的に参加した。

【資金収支計算書による計画・実績（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人数（名）	147	84	△63
放課後デイ利用者延べ人数（名）	1,010	972	△38
合計（名）	1,157	1,056	△101
児童発達支援 1日あたり平均利用者数（名）	0.6	0.3	△0.3
放課後デイ 1日あたり平均利用者数（名）	3.9	3.7	△0.2
合計（名）	4.5	4.0	△0.5（88%）
児童発達支援事業収入（千円）	893	993	100（111.1%）
放課後デイ事業収入（千円）	14,443	14,652	209（101.4%）
合計（千円）	15,336	15,646	310（102.0%）

【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成27年10月事業開始

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用者定員（名）	5	5	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	2.2	3.2	4.6	5.3	4.0
稼働率（%）	44.0	64.0	76.7	88.3	66.6
稼働日数（日）	128	259	257	256	261
利用者延べ人数（名）	281	827	1,177	1,378	1,056

## 児童発達支援

### 目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育やリハビリを通じて、持っている力を発揮できるよう取り組む。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子供同士の関わりを広げる。

### [報告事項]

- ・新規利用児童は3名増。家族と離れた場所でも安心して過ごせるように、マンツーマンの関りを多くした。
- ・製作物作成、身体を動かした運動遊び、玩具を使用した感覚遊び、絵本の読み聞かせ、散歩や公園での遊具遊び等を提供し、自発性や自己表現力を引き出した。
- ・公園で会った同年代の子どもと交流をする事で他者との関りを持つことが出来た。

【直近5年間の利用者の推移】

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1日あたり平均利用者数(名)	0.1	0.3	0.6	0.5	0.3
稼働日数(日)	128	259	257	256	261
利用者延べ人数(名)	2	87	147	136	84
事業収入(千円)	18	877	1,513	2,683	993

## 放課後等デイサービス

### 目 標

- ・一人ひとりの状態に合わせてながら、快適な時間を送れるよう配慮する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。
- ・地域交流を通して地域と輪になり、好奇心や楽しみを広げる。

### [報告事項]

- ・終日利用の際には体調管理に配慮し、児童の心身に合わせて横になりリラックスできる時間を作り、疲労の緩和や、身体をほぐす時間を設けた。
- ・活動に利用者のニーズを取り入れ検討し、利用者の満足度を高められるよう実施した。また、作業の工程を分け、様々な経験が出来る工夫をした。

【直近5年間の利用者の推移】

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1日あたり平均利用者数(名)	2.2	2.9	4.0	4.8	3.7
稼働日数(日)	128	259	257	256	261
利用者延べ人数(名)	279	740	1,030	1,242	972
事業収入(千円)	3,335	9,790	13,468	21,558	14,652

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	諏訪神社
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
9月	ハピネス祭り	ハピネス浜野
10月	ハロウィン	ねむの木広場
12月	クリスマス(カップケーキ作り)	ねむの木広場
2月	節分祭	諏訪神社

3月	ひな祭り	ねむの木広場
<p>*月間活動：誕生会</p> <p>*週間活動：個々の状況にあわせた活動提供  (製作活動、音楽活動、スポーツ、ゲーム、散歩など)  クッキー作り アロマバスボム作り ミニミニ運動会</p>		

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	ヒヤリハット件数	事故件数
転倒	1件	0件
車両事故	1件	1件
転倒	1件	0件
器物損壊	0件	2件
その他	2件	0件
合計	5件	3件

前年度 (1) (2)

## グループホームセレニテ

(共同生活援助)

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- ・適切な財務と運慶管理を行う。
- ・2棟目に向けて、他グループホームの情報収集やニーズを把握する。

[報告事項]

<p>・台風第15号の被害により、9/9明け方から9/10夜間まで停電となる。9日日没後にハピネス浜野へ移動し、11日午後までねむの木広場にて避難生活となった。防災備品の不足と非常時の情報の収集が重要だと痛感。反省を踏まえ、台風19号・10/25の大雨など対策を講じた。</p> <p>・紅葉狩りを予定していたが、台風・大雨などの被害が続いたこと、職員の体制も十分に配置が取れないと判断し今年度は中止とした。</p> <p>・新型コロナの流行の兆しがみられるため、3月より利用者の買い物同行は中止。必要物品は代行して購入する対応を行った。特に電車利用の入居者2名の体調には留意し、手指消毒・うがいの強化・ホーム内消毒などの感染予防対策を行った。</p>
--

【入居者年齢構成】

令和2年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	0	2	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	1	0	0	0	2
計		0	1	2	1	2	0	0	6

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数(名)	2,120	2,129	9
1日あたり平均利用者数(名)	5.6	5.8	0.2(103.5%)
事業収入(千円)	18,994	19,168	174(100.9%)

【直近5年間の利用者の推移】 ※平成27年5月事業開始

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用者定員(名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数(名)	3.4	5.7	5.6	5.8	5.8
稼働率(%)	56.7	95.0	93.4	96.6	96.6
稼働日数(日)	336	365	365	365	366
利用者延べ人数(名)	1,152	2,086	2,053	2,120	2,129
事業収入(千円)	8,949	17,477	17,745	18,575	19,168
平均障害支援区分	3.2	3.4	3.5	3.5	3.8

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
4月	外出活動(花見・ボーリング)	ゆみーる鎌取・大百池
8月	浜野町盆踊り(17日) 3名参加	本行寺
9月	ハピネス祭り(8日)	ハピネス浜野
12月	忘年会(27日)	グループホームセレニテ
2月	節分祭(3日) 2名参加	諏訪神社
土日	買い物・お菓子作り等	

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	ヒヤリハット件数	事故件数
転倒	5件	5件
転落	0件	0件
ずり落ち	1件	0件
服薬	0件	1件
器物破損	0件	1件
送迎中	0件	0件
その他	6件	2件
合計	12件	9件
前年度	(3)	(12)

【法人内職員研修・実習生受け入れ実施報告】

月	研修等	実習生等受け入れ
4月	リーダーシップ再考 社会福祉会計簿記 長嶋 Dr. プロジェクト実行委員会 介護技術向上研修 接遇マナー研修	
5月	社会福祉会計簿記 新規学校卒業予定者求人手続き等説明会	
6月	関プロ職員支援力アップ勉強会 社会福祉会計簿記	介護実習2名
7月	千葉県身体障害者施設協議会職員研修会 初任者研修 摂食嚥下障害認定看護師による口腔ケア グループホーム等支援ワーカーの役割	介護等体験1名
8月	全国身体障害者施設協議会研究大会	相談実習1名 介護実習2名
9月	リスクマネジメント研修 感染症対策研修会	介護実習2名
10月	関東甲信越地区身体障害者施設職員研修大会 相談援助技術研修 フォローアップ研修 障害者虐待防止・権利擁護研修 令和元年度介護福祉士実務者研修開講（～3月） 介護過程研修Ⅰ キャリアパス対応生涯セミナー研修 社会福祉会計簿記	介護等体験1名

11月	社会福祉実習指導者講習会 介護福祉士実習指導者講習会 児童発達管理責任者基礎研修 外国人介護人材受入セミナー 千葉県身協職員研修会	介護等体験1名
12月	福祉サービス苦情解決研修 摂食・嚥下障害ケア 身障協ケアガイドライン意見交換会 人事・労務管理研修 相談支援従事専門コース別研修 千葉県主催防災対策講座千葉放課後連研修会	
1月	淑徳大学実習報告会 相談支援従事専門コース別研修	介護実習2名
2月	全国社会福祉協議会 地域生活支援推奨研究会議 職場のパワーハラスメント防止対策説明会 個別支援計画作成および運用に関する研修会 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 相談支援従事専門コース別研修 会計実務者研修	
3月		
毎月	人間力向上研修（リーダー候補10回・所属長2回）	

#### 研修等

- ・各関係機関との連携を深めるため、事業所間連絡会や研修会に参加した。
  - ・職員それぞれのキャリアパスに応じた資質向上を図るため、全社協キャリアパス対応生涯セミナー等に参加した。
  - ・生活支援員の介護技術の向上のため、各種研修に参加した。
  - ・事務員の事務処理能力向上のため、福祉会計簿記や人事・労務管理の研修に参加した。
  - ・人間力向上研修は同じ内容を3年間実施し、各年7名前後が受講した。
  - \* 外部研修参加者は全体会議や部署内会議で伝達研修を実施した。
  - \*\* 3名の職員が令和元年度介護福祉士実務者研修を修了した。
- （2月、3月に参加予定の研修があったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止となった。）

#### 実習生等受け入れ

- ・介護等体験実習生を教職課程の一環として各大学から計3名受け入れた。
- ・介護実習生を京葉介護福祉専門学校から計8名受け入れた。
- ・相談援助実習生を淑徳大学から計1名受け入れた。また、淑徳大学実習報告会では実習生が報告者となり登壇した。

## 【法人内委員会・諸会議実施報告】

### ①運営委員会 … 法人内事業所の運営管理

#### [報告事項]

- ・各事業の利用状況の把握と運営上の課題について検討した。
- ・災害・感染症予防対策を検討した。

### ②安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

#### [報告事項]

- ・職員健康相談の相談数は年間2件で、体調や働き方について産業医に相談した。
- ・部署内では大掃除を2回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を2回実施した。
- ・健康診断（腰痛検査含む）、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- ・業務内容を問わず腰痛がみられることから、移乗用リフト（福祉用具）を購入し、使用方法を研修した。
- ・2月会議より新型コロナウイルスの感染予防対策について産業医に相談。予防対策の方法について職員への周知・館内消毒・来館者の手指消毒の強化を行った。
- ・労災事故0件、時間外労働超過者0件、育児休業による時短勤務1名

### ③リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメントと委員会統括

#### [報告事項]

- ・前年度より、ヒヤリハット件数増、事故件数は多少減少したものの、事故としての負傷、物損が増加している。また、不適切なケアの発見もあり、職員のケアに対する意識の変化も見られている。
- ・今年度も物損が多く見られ、施設備品等の取扱いについて丁寧に扱うこと、点検を行うこととし、発見シート・ヒヤリハットを活用することで事前に気づく目もち、事故の再発防止に努めたかったが、総括的に見て、全ての事故の検証等の周知実施ができなかった。

### ④感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

#### [報告事項]

- ・上気道感染者15件、感染性胃腸炎0件、インフルエンザ（職員3件、入所者0件）にて感染症の拡大みられず。
- ・自己チェックシート記載、館内（ハピネス浜野・グループホームセレニテ・厨房）巡視を年4回実施し支援者会議等で報告し改善を図った。
- ・新入職員に嘔吐物処理研修演習、11月感染性胃腸炎・吐物による食器処理方法・インフルエンザ研修を行う。
- ・昨年度末3階浴槽よりレジオネラ菌検出。4/22再検にて陰性であったが滅菌機破損が原因と思われる。
- ・2月中旬ごろより新型コロナウイルス感染症予防対策により、館内消毒・換気・手洗いの励行を促す。

⑤環境改善委員会 … ヒヤリハット・事故報告の検討・再発防止、建物、設備等の改善、福祉サービスの向上

[報告事項]

- ・設備部門では利用者の安全を考えた上で、主にキッチンや洗面台周りの物の配置を変更した。
- ・福祉サービス部門では、リスクマネジャー中心に事故報告書の書式を見直した。また虐待防止委員会とも連携し、リスクマネジャー間で早急に回覧して情報共有を行い、速やかに検討ができるような体制を作った。
- ・利用者の身体に関する事故に対する検討として、室内の使用状況や日中及び夜勤帯の業務内容、利用者の支援内容について検討した。

⑥身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

[報告事項]

- ・会議は毎回、前回、話し合われた内容をあらためて確認し、検討事項が途切れないよう実施している。
- ・各委員は「何が拘束に該当するのか」への理解が深まっており、新規の拘束事案は速やかにチェック表に加えられている。
- ・その他、身体拘束実施チェック表の廃止に向け準備を進めた。またケース検討等を実施した。

⑦虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- ・虐待の早期発見や自身の振り返りをするための「職員セルフチェックリスト」は、2回（6月、12月）に実施した。同リストの集計結果から、職員からの虐待と思われる行為及び、虐待へと繋がりそうな言動等はなかった一方で、生活支援課より、不適切なケア報告が複数挙がった。不適切なケア事案については、各部署会議で公表すると共に、対応策や改善方法について具体的に検討する機会を設けた。
- ・生活支援課より不適切なケア報告が複数挙がった為、生活支援員を対象に、「虐待防止研修」を行った。研修実施により、日頃の支援を見直す機会となり、一定の効果は得られた感はあるも、効果の持続への具体的取組については今後の課題。

⑧防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施。

[報告事項]

- ・消防機器の自主点検を実施した。
- ・さすまたの使い方について、内部研修を実施。
- ・防災備蓄庫内の整理を行い、備蓄品の在庫数把握ならびに追加購入品の確認を実施した。
- ・避難訓練（総合、夜間想定）の実施。
- ・担架の使い方について内部研修を実施。

⑨行動評価検討委員会 …モデル行動の推進・目標の振り返りの実施。(今年度立ち上げ)

[報告事項]

- ・本委員会立ち上げの経緯の確認
- ・今年度行動評価項目の見直し
- ・次年度行動評価項目の検討、案作成

⑩給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- ・給食委託業者と施設長・栄養士が参加して、2か月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。
- ・行事食や防災食の報告・検討を行った。今年度、炊き出し訓練は実施できなかった。
- ・その他、厨房機器や食器購入、感染症への対策等について確認した。

⑪全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- ・体調不良、急用以外の職員は会議に出席し、利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を報告し、検討した。
- ・今年度は「どう思う」と題して、職員間で共有したい内容を投げかけ意見交換を実施した。
- ・規程の説明や理事会の報告、各委員会研修を実施した。

平成31年(令和元年)度 委員会年間計画・研修実施報告 (\* 会議月日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営	18日 事業報告書作成 委員会年間計画について	18日 3F浴室について	20日 理事委報告リフト使用について	18日 監査連絡 ○ チームA 林先生ミーティング 報告 18日	15日 行事について	19日 ハビネス祭・台風報告	17日 ハンフレット更新	21日 次年度予算要望 ○ チームA 林先生ミーティング 予防接種 13日	19日 契約書類等について	16日 委増指導報告	20日	19日 事業計画
安全衛生	年間計画作成 17日	危険物確認 15日	大掃除 19日	報告 18日	産業医巡視 21日	健康診断 19日	ストレスチェック 9日	予防接種 13日	大掃除 11日	報告 15日	危険物確認 19日	健康診断18日/産業医 巡視10日
リスクマネジメント				18日 各委員会報告 リフトについて		健康診断 18日	ストレスチェック実施 24・25日	予防接種 13日				健康診断 18日
感染症対策	役割分担作成10日 巡視・自己チェック	報告8日		巡視 自己チェック ○	7日 →報告		巡視 自己チェック ○	6日 ポスター →報告 ○	冬季感染症予防強化	巡視 自己チェック	13日 年度評価一報告 コロナ対策 ○	
環境改善			5日 構成と内容 事故報告書改訂	新人対象・嘔吐物処理 3日 風疹対策 17日 事故報告書改訂 職員間コミュニケーション	2階浴室清掃	19日 居室変更対応 2Fスペース活用等	おう吐物の処理 ○	インフルエンザ・吐物処理 研修 20日		15日 利用者衣類管理や支援 内容	改善計画実施	20日 改善計画評価 年度振り返り
身体拘束廃止	22日 ケース検討 チェック表確認			22日 ケース検討 チェック表確認 ○			28日 ケース検討 チェック表確認	20日 9月の内容評価		27日 ケース検討 チェック表確認		
虐待防止	23日 活動予定		10日～虐待防止チェック リスト	10日 研修計画 集計結果 24日	2728 身体拘束について		2日 臨時 内部研修計画	19日 不適切ケア事 案・今後の研修内容 ○		8日 不適切ケア報 告・研修振り返り 一集計		11日 年度振り返り 引継ぎ事項
防犯・防災	連絡網作成(都度)	13日 火災通報装置 周知	24日	総会選考訓練 24日			防犯訓練 14日 ○	5日 危機管理商業展 見学 ○	9・20日 夜間想定訓 練29日	9・20日 夜間想定訓 練29日	19日	11日 次年度計画
行動評価検討			10日 年間計画伝達				14日 半期振り返り ○	11日 次年度目標立案	9日 次年度目標立案	防災監視態の見方 完成	担架訓練	担架訓練
全体会議	事業計画連絡 ○	訓練内容確認		訓練内容確認 ○	ハビネス祭打合せ		ストレスチェック 訓練内容確認 ○	クリスマス会打合せ ○	マスコミール登録	クリスマス会打合せ ○	○	
結食会議	21日 お花見弁当	21日 端午の節句	16日 千葉風流の日	7日 七夕	18日 精進料理	ハビネス祭 お月見	20日 ハロウィン	リクエスト	15日 クリスマス会 冬至・年越しそば	おせち 七草 お汁粉	18日 節分 ハレイン 建園記念の日	ひな祭り ホワイトデー